

滋賀県大津市坂本城跡の水中考古学的調査

南 健太郎¹⁾・中川 永²⁾・雨宮 まひる¹⁾

1) 京都橘大学 2) 豊橋市美術博物館

【坂本城の概要】

- ①築城年：元亀3年(1572年)
- ②築城主：明智光秀
- ③所在地：滋賀県大津市下阪本
- ④特徴：石垣、礎石建物、瓦
- ⑤関連する琵琶湖岸の城跡：
 - 長浜城(築城：天正元年(1573年)、築城主：羽柴秀吉)
 - 安土城(築城：天正4年(1576年)、築城主：織田信長)
 - 大溝城(築城：天正6年(1578年)、築城主：織田信澄)
 - 織田信長による湖上交通支配のための城郭ネットワーク

【坂本城跡の現状と課題】



図2 坂本城跡と湖中石垣、本調査範囲(南1区)

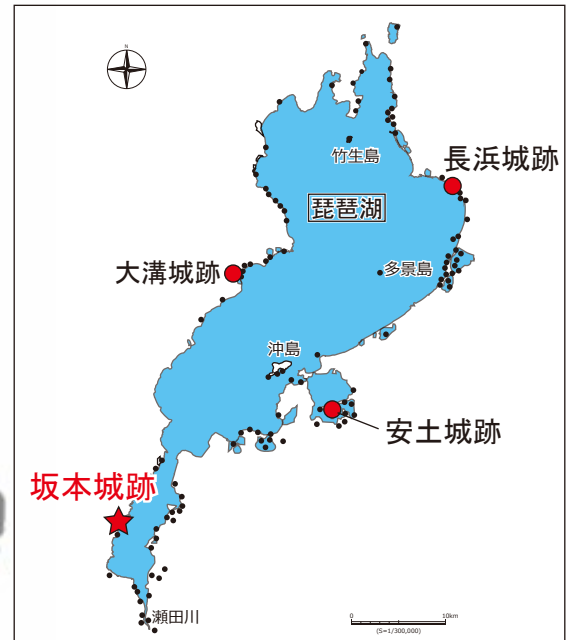
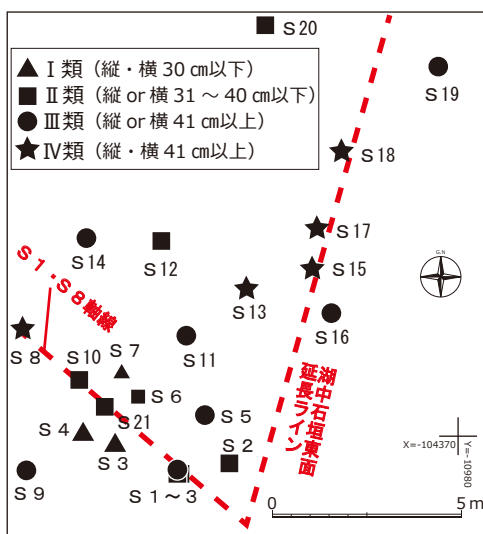


図1 琵琶湖岸の遺跡と坂本城跡

- ・大津城築城にともない廃城。石垣石材などは大津城へ転用
- ・大津城下への城下町の移転
- ・はやい段階での市街地化
- 現状で確認できるのは湖中石垣のみ(根石・胴木・栗石)。

➡城の範囲や機能を考えるため、湖中石垣以外の場所における遺構・遺物の分布調査を実施(京都橘大学考古学研究室)。

【調査の成果】



- ・湖中石垣と同サイズ・同質(素割石主体で矢穴技法なし)の石材を確認
- ・IV類石材が面を東側に向けて直線状に並ぶ(湖中石垣東辺の延長線上)

- ・III、IV類石材が南北軸とそれに鋭角に交わる軸を構成(湖中石垣北端部と共通)
- ・複数の石材が接するように並ぶ
- ・上面標高の推移が湖中石垣と共通。➡坂本城跡にともなう構造物の可能性。



①S15・17(南から)



②S15(東から)



③S17(東から)

図3 南1区石群の分布と検出状況